



高浜小だより

令和3年6月11日発行
高浜町立高浜小学校

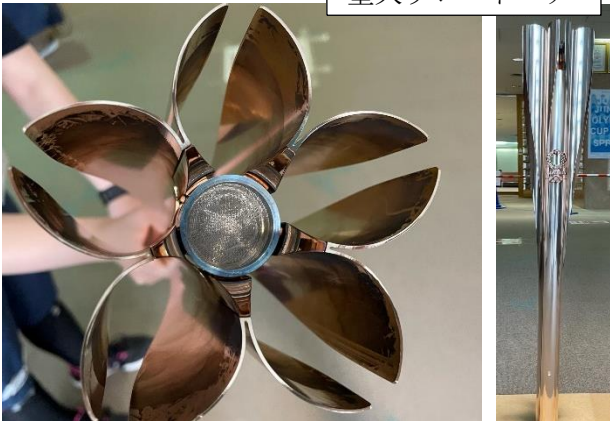
Takahama elementary school



水泳学習を行います

6月に入り、ぐんぐんと気温が上がってきました。先日は、「オリンピック聖火リレー」が高浜町内で行われ、高浜町からもランナーとして参加された方がおられました。

聖火リレートーチ



学校では、新型コロナウイルス感染症の予防対策に加え、熱中症への対策にも力を入れています。ぜひ、ご家庭でも十分にご注意くださいますようお願いいたします。

さて、今年度は、プール清掃の後、水泳学習を行う予定です。小学校での水泳は、子どもたちに水遊びや泳ぐ楽しさを体験させると共に、水遊びの安全に関する心得を身につけさせることが大切です。

水泳中の事故防止はもちろんのこと、安全に水泳を行うことができるように、気温や水温の計測をはじめプール施設の安全管理をしっかりと行います。

さらに、更衣室については、従来よりも広いスペースを確保し、感染症対策にも留意します。そして、多くの子どもたちが楽しみにしている水泳学習を有意義な時間にしていきたいと考えています。

「人・もの・こと」と出会い成長

5月から6月にかけて、多くの学年が校外へ出かけて学習を行いました。また、多くの人たちと出会い、学習を進めてきました。このように子どもたちが、高浜の街の中へ出かけていき、見たり、聴いたり、人々とふれ合い感じたりしたことが、新たな「学び」のきっかけとなります。

4年「高浜地区のよさを伝えよう」



「百聞は一見に如かず」。教科書で学んだことだけではなく、五感を通して実感できることは、子どもたちの興味関心や学習意欲をいっそう高めます。何よりも地域の方の話には、説得力があります。

「あたりまえ」のことになりますが、学習は学校と共に地域に支えられて行われています。感謝の気持ちを忘れずに、今後も高浜（地域）の学習を進めていきます。

2年「さつまいも苗植え」



ご存知ですか？プログラミング教育

昨年から、小学校において「プログラミング教育」が導入されました。そこで、学校では、どのような取り組みをするのか紹介します。

まず、時間割に「プログラミング」という教科が新設されたわけではありません。言い換えれば、「プログラミング」という教科書もありませんし、テストや成績（評価）に表すということもありません。



この学年の、この教科の、この学習（単元）なら「プログラミング」を活用して教科の目標が達成しやすくなる、子どもたちがより意欲的に取り組めるという学習内容で実施します。そこで、本校においても現在は、5年生の算数「正多角形」と6年生の理科「電気と私たちの暮らし」で取り組んでいます。

小学校の「プログラミング教育」とは、論理的に考えていく力を伸ばすことを目的としています。この能力は、将来どのような職業においても求められる力です。

先日、6年生がこのプログラミング学習を行いました。その際、「MESH（メッシュ）」と呼ばれる道具（ツール）を用いました。この道具は、大変便利なもので、「センサーで状態を確認したり、電気部品を動かしたり」することができるだけでなく、「簡単なプログラミン

グで様々な『しくみ』を創る」ことができます。自分たちで操作し、組み立てるという試行錯誤を繰り返し、成功と失敗の体験を積み重ねることで、その体験は子どもたちの「自信」へ、そして、「生きる力」へとつながります。

実際、6年生は、省エネ（エコ）の『しくみ』を友だちと考え、プログラミングを創り出すことに成功しました。それは、

- ・「人を感知して、電気がつく」
- ・「人が感知されないと電気が消える」
- ・「明るさを感知して、電気が消える」といった簡単なものでしたが、論理的な思考をもとにした『しくみ』です。

このような学習を継続して行うことで、課題を解決するためにコンピュータが活かされていることを学び、情報を適切に活用していく能力を育みたいと考えています。また、教員も授業づくりや研修を通して、子どもたちと共に学んでいきたいと思えます。



6月の主な行事予定

20日（日）PTA嶺南地区別研修会

23日（水）プール清掃①

24日（木）プール清掃②

26日（土）授業参観

2限：1・4・5年

3限：2・3・6年

家庭・地域・学校協議会

28日（月）振替

*毎週月・水曜日 15：05 集団下校